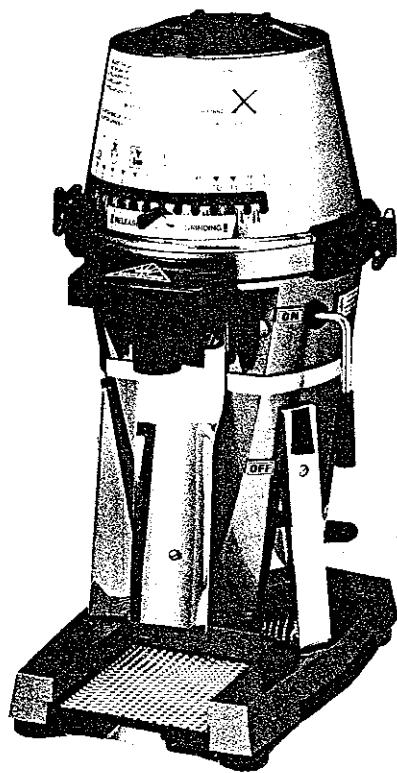


業務用

コーヒーラインダー
VTA-6S

取扱い説明書



ラッキーコーヒーマシン株式会社

このたびは V T A - 6 S をお買上げいただき、誠に有難うございます。

ご使用の前に この取扱い説明書一特に安全上の注意一をよくお読みください。
この説明書の内容は 従業員の皆様全員に十分ご理解いただき、常にこれに従った
操作をしてください。
この取扱い説明書は オペレーターの皆様全員がいつでもすぐ見られるよう 分かり
やすい場所に大切に保管してください。

目次

1. 安全上の注意	3 ページ
2. 仕様	5 ページ
3. 各部の名称	6 ページ
4. 設置	7 ページ
5. 運転	8 ページ
6. 粗さの調整	9 ページ
7. 清掃	10 ページ
8. 故障診断	11 ページ

安全上の注意

- この機械をご使用になる前に 次の「△ 警告」「△ 注意」の各事項をよくお読みいただき、遵守してください。
「△ 警告」の指示事項が守られなかった場合、重大な人身事故が発生する場合があります。
- この取扱い説明書は、必要な時にいつでもすぐ見られるよう、分かりやすい場所に保管してください。

△ 警告

- ビニール・発泡スチロール・釘その他の梱包材は、危険防止のため子供の手の届かない場所に置いてください。
- 漏電による重傷事故を避けるため、必ずアースをしてください。
- 感電による重傷事故を避けるため、
 - 濡れた手足で機械を触らないでください。
 - 裸足で機械を使用しないでください。
 - 機械を水のかかる場所に設置しないでください。
- 運転中はホッパーや吐出口の中に指やその他のものを入れないでください。大ケガや故障の原因になります。
- 運転中は振動板に触れないでください。ケガや故障の原因になります。
- メンテナンス・清掃・移動を行う場合は、予め電源プラグをコンセントから抜くか、元のブレーカーを切ってあることを確認してください。感電や大ケガの原因になります。
- その他 本文中の「△ 警告」事項を守ってください。

△ 注意

- (1)開梱後は、機械各部が完全であることを確認してください。疑問がある場合は使用せずに、販売店にご連絡ください。
- (2)機械の接続前に、銘板の電源数値と電源とが一致していることを確認してください。電源容量が 銘板に示す機械の消費電力を十分にカバーしているかチェックしてください。電源の接続は、安全基準に合ったプラグを使用してください。
延長コードの使用は避けてください。
不適または誤った設置・接続による事故・故障に対して、メーカーは責任を負いま

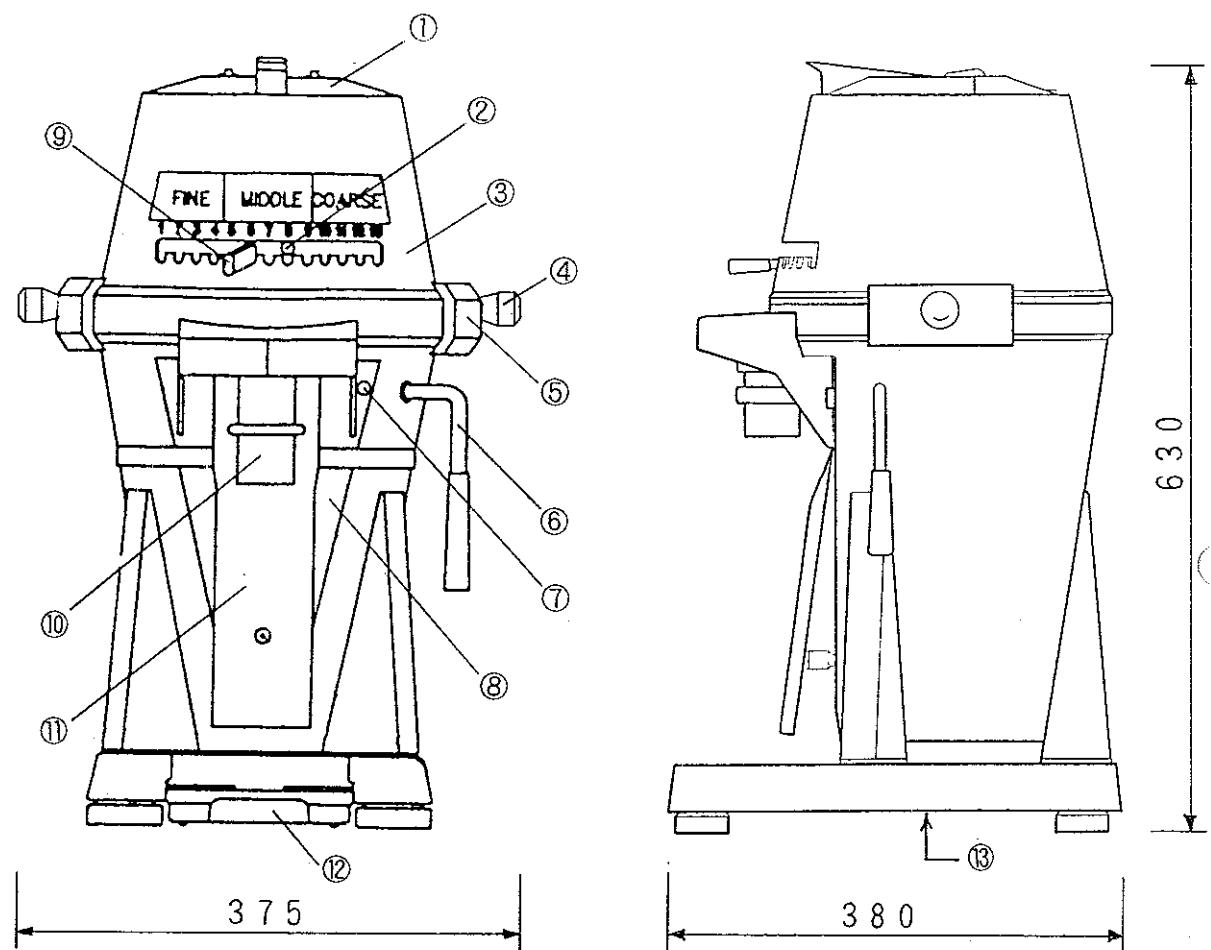
せん。

- (3)この機械は、焙煎したコーヒー豆を挽く目的だけに使用してください。湿ったコーヒー豆や他の材料を絶対に挽かないでください。
- (4)本機の使用にあたり、次の事を必ず守ってください。
- コンセントからプラグを抜く時は、コードを持って引き抜かないでください。
また、コードの上に物を置かないでください。コードやプラグが傷んで故障や やけど・火災・感電事故の原因になります。
 - 過熱による危険を防ぐため、電源コードのもつれが無いようにしてください。
 - 電源コードは、お客様が修理することは避けてください。もしコードの傷みに気づいたら、プラグをコンセントから抜き 販売店またはラッキーコーヒーマシン(株)に連絡してください。
 - 決して容器内に水を入れたり、本体を水洗いしたりしないでください。
 - ガスコンロやオーブンの近くなど高温になるところ、湿度の高い所で使用しないでください。
 - 雨・直射日光などにさらさないでください。また屋外で使用しないでください。
 - 子供や不慣れな方の使用は避けてください。
 - 営業終了時には プラグを抜いてください。
- (5)清掃作業は この取扱い説明書に従って行ってください。
- (6)異常や 変な動作をした場合は、ただちにスイッチを切りプラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- 修理が必要な場合は、販売店またはラッキーコーヒーマシン(株)に依頼してください。
- 部品交換は、必ず純正部品を使用してください。他の部品を使用すると機械の安全性が損なわれる場合があります。
- (7)決して機械の改造・仕様変更をしないでください。
- (8)コードやプラグ・ホッパー・指入れ防止器などが損傷したままで使用しないでください。
- (9)定格時間（40分）以上連續で使用しないでください。
- (10)その他 本文中の「△ 注意」事項を守ってください。

仕 様

品 名	コーヒーグラインダー
型 式 名	V T A - 6 S
寸 法	H : 630 W : 375 D : 380 (mm)
重 量	本体 約44 (kg)
電 源	三相200V 50/60Hz 9.5A
電 力	2100W
時 間 定 格	40分
粉 碎 能 力	約2.5kg/min.
ホッパー容量	約1kg
保 護 装 置	モーター プロテクター (自動復帰) サーキットブレーカー (手動復帰)
付 属 品	受け皿 1 ハンドルバー 1 ブラシ 1 六角レンチ (4mm・5mm) 各1

各部の名称



- ①ホッパーフタ
- ②調整ネジ
- ③上部カバー（ホッパーと一体）
- ④クランプノブ
- ⑤クランプ
- ⑥スイッチレバー
- ⑦運転ランプ
- ⑧下部カバー
- ⑨調節レバー
- ⑩吐出口
- ⑪振動板
- ⑫受け皿
- ⑬リセットボタン（サーキットブレーカー復帰用）

設 置

[準備] 設置台 操作し易い高さの丈夫で水平な台をお選びください。

電 源 設置場所からおよそ1㍍以内のところにコンセントまたは配電函を用意してください。コンセントの場合はこれに合ったプラグもあわせてご用意ください。
電源は三相200V10A以上のアース付のものをご用意ください。

「△ 警告」絶縁不良による事故・故障を防ぐため、濡れた所や湿度の高い場所、水のかかる恐れのある場所での使用は避けてください。

「△ 警告」転倒による事故・故障を防ぐため、設置台は丈夫で水平な平面をお選びください。人通りの多い通路付近は避けてください。

「△ 注意」過熱器具の近くなど高温になる場所は避けてください。

[電源接続] グラインダーは すぐに使用できるよう調整されています。次の要領で電源に接続してください。

1. 電源コードには4本の線があります。緑の線をアース端子に、残りの黒い線3本を各相に接続します。

「△ 注意」 プラグ等電源端子への接続は、圧着端子を用いるなどして確実に行なってください。

設備側の電源配線との直結は避けてください。

2. プラグをコンセントに差しこみ、スイッチレバーをONにします。このときホッパーのフタを開けて カッターの回転方向を確認します。ホッパー内に回転方向を示す矢印があります。

3. 逆回転している場合は、スイッチレバーをOFFにしてプラグを抜き、黒い3本の相線のうち2本を入れ換え 極性を変更します。

4. 最後にカッターの回転方向が合っていることを確認して完了です。

運転

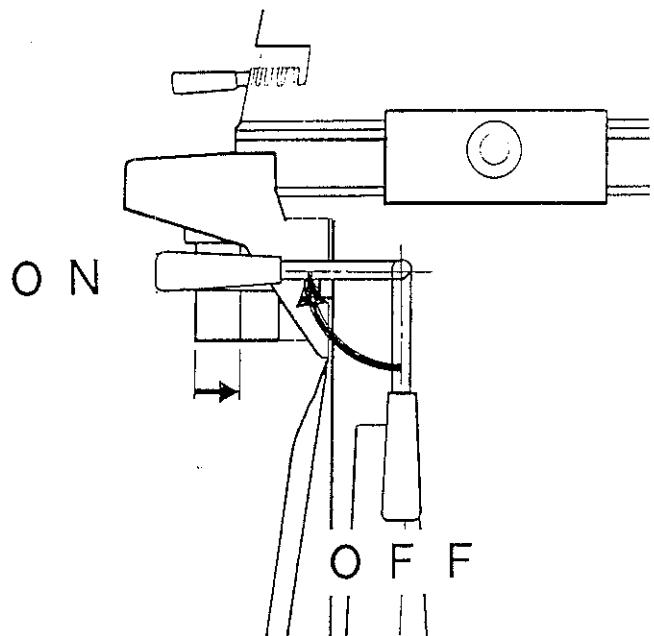
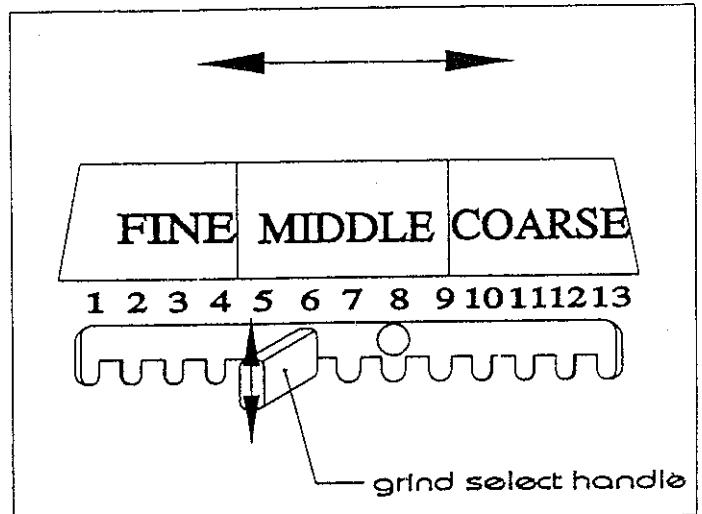
電源プラグをさしこみます。

1. 希望のあらさを選びます。
調節レバーを持ち上げ、希望するあらさにスライドさせてノッチ（溝）におさめます。
2. ホッパーに豆を入れてフタを閉めてください。
3. 吐出口に袋をうけてかぶせ、スイッチレバーをONにします。ONにすると袋が吐出口に固定され、運転ランプが点灯すると同時にカッターが回転し豆を挽きます。モーターに連動して振動板が働き、粉をスムーズに袋に詰めていきます。（袋をかぶせる際、吐出口の後ろに指をまわしてスイッチレバーをONにするとゆびが挟まれますのでご注意ください。）
4. カッター音が軽くなり豆が挽きあわったら、片手で袋を押さえながらスイッチレバーをOFFにします。袋止めが外れると同時に吐出口内の粉がかき落とされ清掃されます。

「△ 注意」吐出口内の清掃のためにスイッチレバーをON・OFFさせないでください。故障の原因になります。

「△ 注意」粉の二度挽きはしないでください。故障の原因になります。

営業終了時には、電源プラグを抜いてお帰りください。

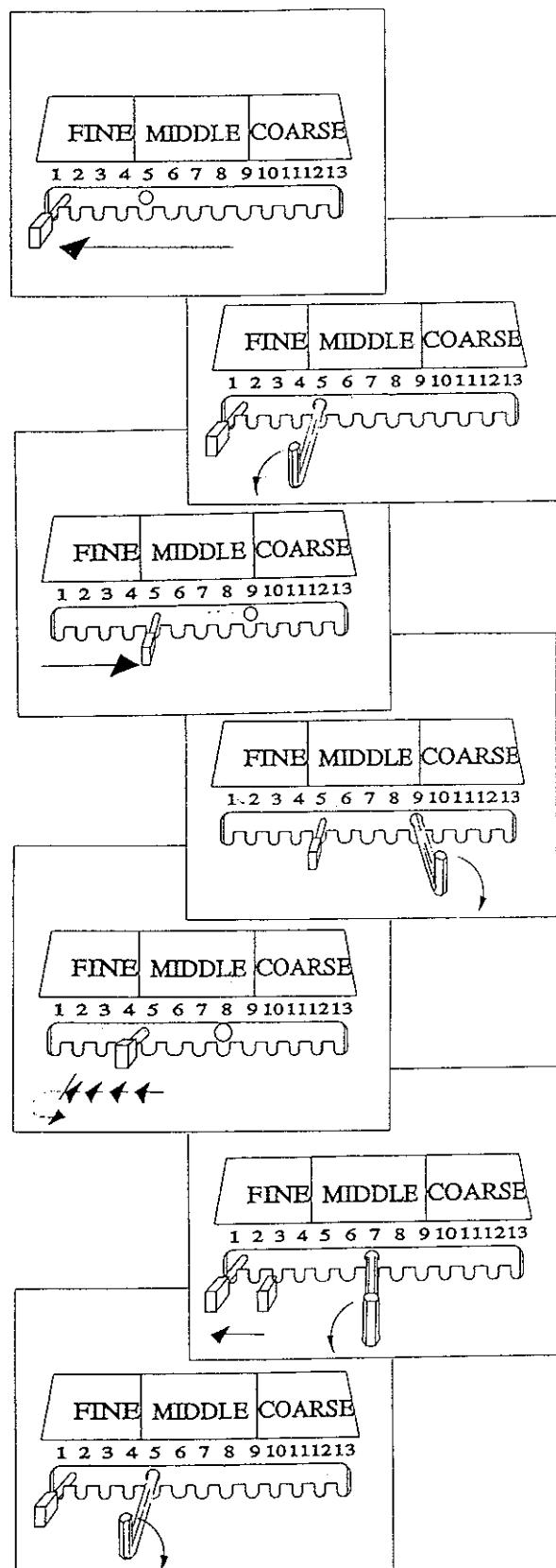


あらさの調整

このグラインダーは、出荷の際工場で正確に調整されていますが、カッターの磨耗にしたがって調整が必要となってきます。通常の調整で思ったより荒い粒度になったり、グラインド時間が長くなってきたらカッターの交換が必要です。販売店にご連絡ください。

粒度（あらさ）の調整は次の要領で行ないます。

1. 調節レバーを“1”に合わせます。
2. 六角レンチでスポンジの穴の奥にある調節ネジを緩めます。
3. 調節レバーを“5”前後に合わせて、調節ネジを締めます。
4. スイッチレバーをONにします。
5. 調節レバーをゆっくりと“1”の方へスライドさせます。
カッター同志が当たる音がしたらそこで止め、1ノッチ戻します。
6. 再度 調整ネジを緩めて、調節レバーを“1”的位置に戻します。
7. 調整ネジを固く締めてください。
この時カッターの当たる音がないことを確認してからスイッチレバーをOFFにします。
8. 最後に 少量の豆を換いてテストします。



清掃

「△ 警告」のような修理・保守・清掃作業を行なう場合も、予め電源プラグを抜いてから行なってください。安全上の注意に従って作業を行なってください。

外装の清掃 時々柔らかい布で拭いてください。水をかけたり、濡れた布での掃除は避けてください。

定期的に ホッパー内のマグネットについていた異物を取り除きます。

作業がしにくい場合は、ホッパーを取り外して行なってください。

カッター部の清掃

①両サイドのクランプノブにハンドルバーを差し、緩めてください。クランプと上部カバーが緩みます。

②レバーを“7”に合わせ上部カバーを持ち上げ、手前に傾けながら調節レバーを抜くように外します。

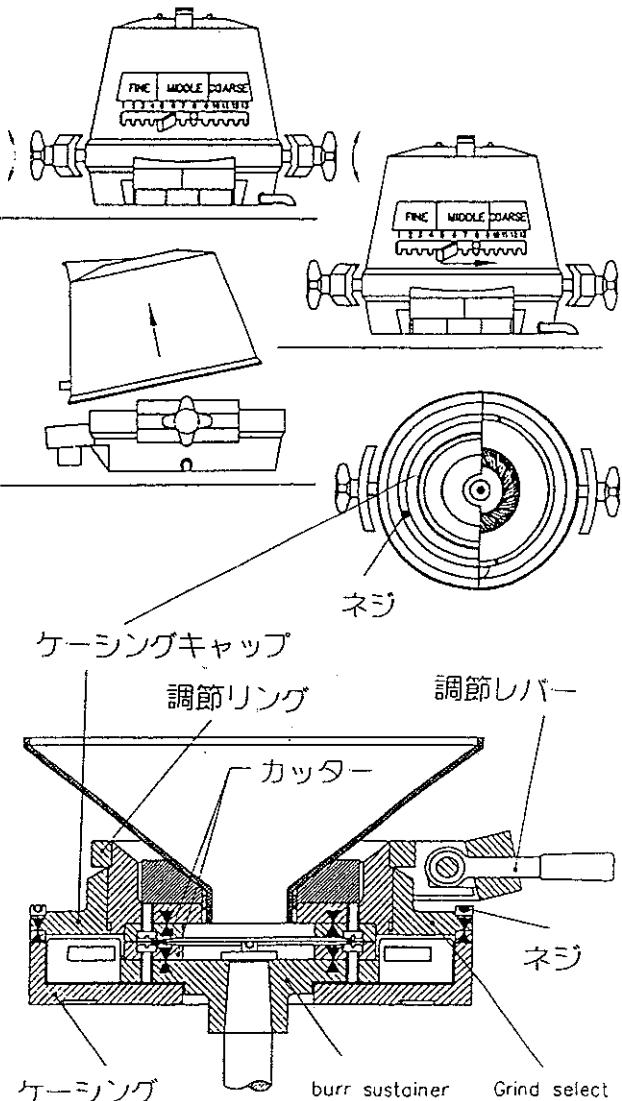
③ケーシングキャップを止めている3本のネジを外し、キャップを持ち上げて外します。これでカッター部が現れます。

④ブラシでカッター部と吐出部のコーヒー粉を掃除します。異物があれば取り除いてください。吐出口も下からブラシで清掃します。

⑤ケーシングキャップと固定カッターを清掃します。

「△ 注意」 ケーシングキャップとケーシングの接触面はコーヒーの粉等が残らないよう特に注意してください。

⑥ケーシングキャップをケーシングにかぶせ、ネジで締めつけ、上部カバーを取付けます。



▲・▼印の面は 特にきれいに清掃してください。

故障診断

トラブルが発生したら、一旦スイッチレバーをOFFにして、下の表を参照してください。

下記以外のトラブルの場合は、販売店にご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処
グラインダーが動かない。	プラグがしっかり差し込まれていない。	プラグをしっかり差し込む。
	ブレーカーがトリップしている。	本体下面にあるリセットボタンを押す。頻繁にトリップする場合は販売店に点検・修理を依頼する。
	プロテクターが動作している。	グラインダーを1時間程停止して冷やす。
	設備側のブレーカーがトリップしている。	ブレーカーをチェックし、リセットするかヒューズ交換を行なう。同じ回路で使用されている他の機器類について確認する。
グラインダーの唸り音はするが豆が挽けない。	吐出口内の詰まり。	調節レバーを粗い方にスライドさせスイッチレバーをONにする。正常に挽き出したら、レバーを元の位置に戻す。 必要に応じてカッターパーツの清掃
	電源の1線が切れ、単相になっている。	ヒューズを使用していれば点検する。同じ回路で使用されている他の機器類について確認する。
	異物が混入したか、ホッパーのマグネットに金属片が付いている。	カッターパーツの清掃。
	電源の極性違い。	グラインダーの回転方向を確認。

製品保証書

型式	VTA-6S	機番	保証期間
お客様	お名前 様		お買上日より1力年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 ()	—	* 年 月 日
*販売店名 住所 電話 () —			

本書はお買上日から上記期間中に故障が生じた場合には、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上店にお申し付けください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- *この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、
保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

*This warranty is valid only for Japan.

ラッキーコーヒーマシン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-57

東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-57

営業所	
札幌営業所	〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1473
東京営業所/東京ショールーム	〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723
名古屋営業所/名古屋ショールーム	〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677
大阪営業所/大阪ショールーム	〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
福岡営業所	〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356
福岡ショールーム	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356